

町内会事務所は
祝日を除いて月曜日～
金曜日 10 時から 16
時まで開いています。

町内会だより

3
月
号

玉川学園町内会
町田市玉川学園 2-19-5
Tel/Fax : 042-725-0438
E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp
http://tamagawagakuen-chonaikai.net

平成 28 年度定期総会のご案内

平成 28 年度定期総会を 4 月 17 日(日)午後 1 時からさくらんぼホールで開催します

定期総会は、町内会の前年度の事業報告・決算報告、新年度の事業計画案
・ 予算案を審議し、地域の諸問題について話し合う大切な会合です。最高の
決議機関でもある総会は 70 名以上の出席者と過半数の賛否で議決することにな
っています。今回は、役員を選出と、会計監査の選出が予定されています。
会員の皆様には是非ご出席下さいませようお願いいたします。

役員および会計監査の 立候補・推薦の方法

- ・ 会員は誰でも立候補できます。また会員は誰でも
他の会員を推薦することができます。(但し、推薦す
る場合には本人の了解が必要です)
- ・ 立候補届出は 4 月 11 日(月) 10 時～4 月 15
日(金) 12 時までに町内会事務所前に設置の立候
補届け出箱にて受付けます。
- ・ 用紙は自由ですが住所氏名(ふりがな)を明記し
てください。推薦の場合は推薦者の氏名もお書きく
ださい。
- ・ 立候補・推薦状況の中間発表は 4 月 13 日(水)
14 時に町内会事務所前に掲示します。
- ・ なお、選挙についてご不明の点は、下記選挙世話
人にお問い合わせ下さい。

総会の議題(予定)

- | 審議事項 | 報告事項 |
|----------------------------------|--|
| ・平成 27 年度 事業報告
決算報告
会計監査報告 | ・ 玉川学園交通問題協議会経過報告
・ 玉川学園コミュニティバス推進委員会
経過報告 |
| ・平成 28 年度 事業計画案
予算案 | ・ 玉川学園地区社会福祉協議会経過報告
・ 玉川学園地区まちづくりの会経過報告
・ 芝生の会経過報告 |
| ・ 役員を選出 | ・ 消防団(第一分団第五部)の事業報告 |
| ・ 平成 28 年度会計監査(2 名)の選出 | |

選挙世話人は次の方々です。(敬称略、◎代表)	第 3 地区 渡辺 道夫 ☎726-5601	第 6 地区 出澤 克久 ☎723-0706
第 1 地区 中村 庄一 ☎727-1466	第 4 地区 竹下 知道 ☎725-5206	第 7 地区◎山下 和泰 ☎727-2931
第 2 地区 木村 彰男 ☎720-8364	第 5 地区 望月 富雄 ☎732-7214	第 8 地区 富澤 康夫 ☎725-9652

好評「ふるさと寄席」のご案内

—文化部—

林家木久蔵師匠はじめ笑いの絶えない玉川大学出身者の噺家による落語会(第 3 弾)を下記
の要領で行いますので、是非ご家族やご近所の方たちをお誘いのうえお越しください。
参加ご希望の方は、裏面の申込書に氏名、住所等を明記のうえ、申込み締切日までに、町内
会事務所までお申込みください。

記

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 22 日(日) 13 時開場、13 時半開演
- 2 場 所 さくらんぼホール
- 3 出演者 林家木久蔵 古今亭駒次 三遊亭日るね
- 4 構成 三遊亭日るね(開口一番・古典もの)→古今亭駒次(新作・鉄道もの)
→中入り→トークショー(3 人で。司会・木久蔵。主に玉川学園の街
についてのおしゃべり)→林家木久蔵(トリ・古典もの)
- 5 入 場 料 1,000 円
- 6 申込締切日 平成 28 年 4 月 22 日(金) <町内会事務所必着(Fax でも可)>
- 7 その他 応募者多数の場合は抽選になりますが、当落は必ず連絡いたしますので
当選された方は、当選ハガキに記された指示に従って入場料 1,000 円
をご持参のうえ町内会事務所までお越しください。

<プロフィール>林家木久蔵(はやしや きくぞう) 昭和 50 年東京生まれ。玉川大学在学中の
平成 7 年、父・林家木久蔵(現・木久扇)に入門し、きくお。平成 19 年、真打に昇進し 2
代目木久蔵。中学・高校も玉川学園。

古今亭駒次(ここんてい こまじ)昭和 53 年東京生まれ。
玉川大学卒業後、平成 15 年、古今亭志ん駒に入門し、
駒次。平成 19 年、二つ目に昇進。

三遊亭日るね(さんゆうてい ひるね) 昭和 53 年三重
県生まれ。玉川大学中退後平成 20 年、三遊亭歌る多に
入門し、多ぼう。平成 25 年 6 月、二つ目に昇進し、
歌も女から日るね。



フラッグアートのご報告

—青少年部—

玉川学園の街 80 周年を記念して始
まったフラッグアートは今年度で 7 年
目になります。町田市の補助金を受け、
玉川学園町内会ははじめ町田第五小学
校、南大谷小学校、南大谷中学校、玉
川大学、商店会や地域団体のご支援で、
細やかな活動ですが、地域内外の皆様
に愛されるイベントになっています。
2015 年度は各学校で合計 106 枚
のフラッグアート作品を制作して、駅
前商店街や恩田川遊歩道に 10 回、合
計延べ 270 枚のフラッグアートを展
示しました。2016 年度も玉川大学
フラッグアート教室に町田第五小や南
大谷小の子どもたちと南大谷中・玉川
大学芸術学部学生
が集まりフラッグ
アート作品づくり
を地域の皆様と一
緒に楽しみます。
今年度同様に駅前
や恩田川遊歩道に
飾ります。ぜひご
覧ください。



資源回収の報告 —環境部—

2 月の回収は
90.3 トンでした
資源ゴミは当日朝の 9 時ま
でに出してください
問合せは町内会事務所
または大興資源
045-929-4813 まで
* 不正回収を目撃した時は、
日時、場所、回収車の車両番号
などを町内会事務所までお知ら
せください。

広報部から

上場企業の役員で退職した方のお話です。退職時に何か不愉快な
事があったのでしょうか、俺の人生は何だったんだみたいな愚痴をこ
ぼしたようです。そのとき奥さんから、じゃあ私の人生はどうなる
のと言われました。そのときつい俺のおまけだと言っていました。
取り返しのつかない失言をしてしまったのです。それからどう
なったか。自分だったらどうするか考えてほしいと思いますが、す
ぐに答えを言います。言わなかったふりをするなんてことはしませ
んでした。なんと、炊事、洗濯をすべて引き受けたのです。洗濯物
のたたみ方まで奥さんに教えてもらいながら。さすが上場企業の役
員を務めるだけの人です。最近、奥さんとイタリア旅行に行ってきた
そうです。間違いの訂正で人間の器がわかるのだと思いました。
そして、いつでもやりなおせるものなのだという事。 (前田)

3 月定例幹事会(3/1) 報告

- 総務部—
- 下記の審議事項が承認されました
1. 会則改正(案) No.3. 細則第 6 条 1.
 2. 第 3 地区の 3 台の住居表示版の屋外掲示板への変更
 3. スタンドパイプ(SP)の収納箱作成について
 4. 各地区防災倉庫の備品購入について
 5. 第 6 地区「成瀬台小学校避難施設開設運営会議」会費について

園児の遊び場・地域のオアシス『小鳥の森広場』が玉学2丁目に開園

いつも元気な子どもたちの声が飛び交う玉川中央幼稚園のすぐ近くに、このほど『小鳥の森広場』が完成し、2月3日おひろめ会が行われました。自然豊かなこの新たな広場は、昨年前理事長の故・林富先生から玉川中央幼稚園を引き継がれた小島澄人園長先生が、『お子さんたちを木々に囲まれた環境の下、小鳥や虫さん達と一緒にのびのびと育てたい』との考えから生まれたものです。



かつての広大なお屋敷跡を再開発して7～8戸の家を建設する計画が持ち上がり、反対の署名簿が回るなどする中、新園長の小島先生が約1,200㎡のこの土地を一括購入され、整地や樹木の枝打ち、側溝の整備などを男性職員総出で行いました。以前からあった大きなタイサンボクやヒノキ、モミジなどはそのまま生かし、新たにブルーベリーや甘夏、さくらんぼなど、実のなる木が植えられました。また広々とした園内には、斜面を生かした滑り台やあずまや、地下水を利用したせせらぎやじゃぶじゃぶ池、枕木を組み込んだステージやベンチもあります。

おひろめ会に集まった中央幼稚園・さくら保育園の園児たちは瞳を輝かせ、自然いっぱいの『小鳥の森広場』の開園を心から喜んでいました。間もなく畑も作られ、やがて園児たちが収穫したジャガイモなど野菜たっぷりのカレーパーティーが開かれる日も…またブルーベリーや柿などを収穫する楽しみなど、夢は大きくふくらみます。

玉川学園住宅街の中の「オアシス」…この広場の使用は原則、幼稚園とその関係者ですが、中央幼稚園の事務所に声をかけて頂ければ、一般の方でも中に入ることが出来るそうです。問い合わせ先：玉川中央幼稚園042-725-8446

第6地区の防災講習会が開催されました。

第6地区幹事 服部知行

2月7日(日)第6地区の防災講習会がこすもす会館において開催されました。今回で5回目の開催となります。町田消防署より日爪司令補以下4名、町田市消防団第1分団第5部より川崎副団長以下2名の指導のもと、2時間に渡り「心肺蘇生とAED」、「スタンドパイプ」の訓練をしました。今回は21名の方に参加いただきました。

「心肺蘇生・AED」の訓練は久しぶりにやると戸惑うことも多く、1分間に100回の心肺蘇生はとても大変です。AEDが来れば後は機器の指示通りにやれば大丈夫です。救急隊員が到着するまで、心肺蘇生とAEDの操作を繰り返し行います。何度も繰り返し訓練して初めて「いざ!」という時に役立つのだと思います。



「スタンドパイプ」は、大地震が発生し消防車が来れない時に、道路上にある消火栓に器具を繋いで放水し消火にあたるものです。まずは、消火栓の蓋の重い事、「テコの原理」を応用してようやく開くことが出来ました。後はスタンドパイプを立てホースを繋いで、ゆっくりと水栓を開き放水します。この時の水圧は結構なもので、しっかりと足を踏ん張っていないとホースの先が振り回されます。しかしコツをつかめば女性でもしっかりと扱え、放水することが出来ました。どちらの訓練も、実際に道具に触れ自分で操作してみて初めて分かることが多く、何度も繰り返し訓練をする事の必要性を感じました。今回は、女性の参加者の方が朝早くから、炊出しの準備をして下さいましたので、訓練終了後、全員で「五目御飯」と、「豚汁」を頂きました。特に「豚汁」が美味しく全員がお代わりをしていました。食べ物が入ると口が軽くなるのか、訓練の話や町内会の話で大いに盛り上がり、楽しく有意義な訓練の一日となりました。訓練を指導して下さいました皆様、参加して下さいました皆様ありがとうございました。

環境部からの報告

部長 徳力 幹彦

1) 玉川学園地区のコミュニティーの確立を

住みよい環境を作るには、無数の課題のあることが、この4年間で分かってきました。そして、これらの課題を解決していくには、コミュニティーを作ることが必須であるということも分かってきました。コミュニティーとは、一定の地域内で、互いに共同体として住んでいるという意識を共有している集団とでも言うのでしょうか。今まで、日本にはコミュニティーがありました。お互いが肩を寄せ合い、一歩下がって、互いを認め合うというコミュニティーです。現在も、田舎に行くとこのようなコミュニティーが残っています。しかし、経済が発展して都市化が進んできた結果、様々な地域からやってきた人たちによって作られてきた住宅地、すなわち玉川学園地区のような地域では、このようなコミュニティーを作る基盤がありません。どの様な形で日本の都市の住宅地のコミュニティーを作っていけばよいのか、私には分かりませんが、今住んでいる地域にふさわしいコミュニティーを、試行錯誤しながら、作っていく必要があることは確かです。この試行錯誤の根底に、従来の日本のコミュニティーの原理とは正反対の、「人は、それぞれ、顔が違う様に、それぞれ、考え方が異なる」というような原則を取り込んでいく必要があるのではと考えているところです。

2) 野鳥の環境

玉川学園地区の方々は、木々を非常に大切にしている方が多いようで、それに対応して種々の野鳥を見ることが出来ます。我が家では、ヒエ・粟、ヒマワリの種、トウモロコシの実、残飯やリンゴのきざんだ皮などの4種類の餌を、それぞれ、置く場所を分けて、おやつとしてやっています(主食としてやると野鳥ではなくなりますので)。現在、メジロ、シジュウカラ、スズメ、シロハラ、ツグミ、ヒヨドリ、ムクドリ、キジバト、そして外来種のワカケホンセイインコなどが毎日来ています。これらの野鳥は、それぞれに魅力的で、例えば、メジロは人が近くにいても無視して餌を食べるので、きれいな羽の色をまじかで見ることが出来ます。しかし、最も魅力的なのはスズメです。多いときには30羽近くが群れでやってきます。昔から米を食べるために害鳥として人にいじめられ続けていたためだと思いますが、人に対してとても謙虚なのが素晴らしいのです。また、集団で木から地面に降りるときは、沢山の落ち葉がひらひらと落ちるよう、見事に降りてきます。しかし、ヤマガラ、カワラヒワ、シメ、コゲラ、ウグイスなどが来なくなり、着実に野鳥が住みにくくなってきている現実に直面して、玉川学園地区の将来に、そして人類の将来に深い懸念を抱いているところです。

切り取り線

「ふるさと寄席」申込書

申込締切日 平成28年4月22日(金) <町内会事務所必着(Faxでも可)>

氏名	住所	電話番号